

# 平成27年度 糸魚川市生活科部 活動報告

部長 江口 聡

## 1 研究主題

「豊にかかわり 自分を見つめ よりよく生きる子ども」

## 2 研究の概要

上記主題に沿った実践を行い、実践記録と考察をまとめた冊子を作成し、市内各校へ配付し、実践の交流に努めた。また、研究主題に沿った授業研究を行い、協議を深めた。

## 3 研究の実際

### (1) 授業研究

公開授業 平成27年11月11日(水) 糸魚川市立糸魚川小学校 2年2組

○授業者 教諭 塚田 晃子 ○単元名 「あそび だいすき！」

○本時のねらい:条件を変えて試したり、比べたりする活動を通して、よりよくおもちゃを動かすための方法を考えることができる。

### (2) 授業概要

「新聞紙ロケットを、もっと遠くまで飛ばすためにはどうしたらよいか。」という課題のもと、4人一組のグループになり、話し合いがもたれた。出された意見は、「①発射台を長くする②ゴムを小さくする③ゴムを2本にする④ゴムを太くする⑤ゴムの束を増やす⑥ゴムをピンとはる⑦ゴムの数を増やす⑧トイレトペーパーの芯を小さくする」であった。黒板に分かりやすく整理して児童に示した後、それぞれの理由を聞いた。

次にグループで一つだけ変えて飛び方を比べることを指示し、新聞紙ロケットに改良を加えた。早く確かめてみたいという児童の気持ちが伝わってきた。その後、グループごとに、改良を加えたロケットを飛ばした。「すごい。飛んだ、飛んだ。」「最高記録だ。」など、楽しそうに意欲をもって飛ばす姿が印象的であった。



改良に時間がかかり、最後のまとめをする時間は次時に持ち越しとなったが、児童の活動意欲、発言意欲の高まりのある活発な授業となった。

### (3) 協議の概要

- ・日頃の学級経営がきている。学習規律、グループでの話し合いのきまりなど、児童がきちんとできていた。指導者と児童との関係がうまくいっていて、授業全体が生き生きとしていた。
- ・児童の意欲を高めるような指導計画であり、一人ひとりの児童が課題を自分のこととしてとらえていた。
- ・教材の準備など、事前の教材研究がきちんとなされていた。
- ・新聞紙ロケットにかかわり、どうしたら飛ぶようになるのか、考え、実際に飛ばし検証するという方法を体験でき、3年の理科につながる学習内容であった。

### (4) 指導の概要

○指導者：糸魚川市教育委員会こども教育課課長補佐 亀山 浩 様

- ・児童が意欲をもって取り組めるような単元構成の工夫が見られ、本時の授業も児童が目を輝かせ、生き生きと学習していた。
- ・どの教材が児童にとって良いのか、様々な素材を探したり、試したりするなど、指導者の深い教材研究が土台になっていた。
- ・日頃の学級経営が着実に実践されており、児童と担任教師との人間関係が築かれており、授業がきちんと成立し、児童に成就感が生まれていた。

## 4 成果と課題

- ・授業研究を通して、児童が対象に豊にかかわるには、児童の発達段階に合った教材を選択し、単元構成を工夫することが必要である。
- ・実践報告集作成、配付することにより、情報を共有したり、参考にしたりして、一人一人の指導力が高まってきている。
- ・各校区にあるジオサイトの素材を単元に生かした実践の積み重ねを図り、「ふるさと教育」の実践をよりよいものにしていく。